

## 視察調査・研修会等報告書

令和6年5月27日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳之 様



議員氏名( 橋本 守行 )

研修・視察年月日	令和6年5月23日(木)～令和6年5月24日(金)
研修会場・視察先	5月23日(木): 気象庁 5月24日(金): 衆議院第二議員会館
研修名・視察目的	5月23日(木): ①地域の気象防災対策の推進について ②地球温暖化と異常気象について 5月24日(金): 脱炭素先行地域をはじめとする地域脱炭素に関する取組について
対応者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	5月23日(木): 気象庁 気象防災監 [REDACTED] // 総務部企画課 地域防災企画室長 [REDACTED] 5月24日(金): 環境省 大臣官房地域脱炭素事業推進課 課長補佐 [REDACTED]
参加議員(同行者)	5月23日、24日両日参加: 小林英恵議員、細野大樹議員、 大平拓史議員、島 朋幸議員、高橋 栄議員 5月23日のみ参加: 苅部勉議員 5月24日のみ参加: 廣瀬武蔵議員、永田健一朗議員
調査概要	<p>【地域の気象防災対策の推進について】</p> <p>気象庁は、近年多発している自然災害を鑑み、平成29年より「地域における気象防災業務のあり方検討会」によって、地方出先機関の各気象台による地域防災支援の強化についてかじを切ってきた。</p> <p>これにより、地域住民の具体的な防災行動に結びつくような仕組みが推進されるようになった。</p> <p>今回の説明で特徴的なものは、</p> <p>各気象台に地域ごとの災害特性を踏まえた担当チーム『あなたの町の予報官』を編成し「災害時における取組」、「平時における取組」、「気象防災アドバイザーの活用」を実施しはじめていること。</p> <p>特に「気象防災アドバイザー」は、国土交通大臣から委嘱する気象防災のスペシャリストで、限られた時間内で予報の解説から避難の判断まで一貫して扱える人材となっていることであった。</p>

# 視察調査・研修会等報告書

	<p>【脱炭素先行地域をはじめとする地域脱炭素に関する取組について】</p> <p>環境省の取組みとして、2050年までには少なくとも100か所の脱炭素先行地域を選定し、脱炭素に向かう地域特性等に応じた先行的な取組の実施について道筋をつけ、2030年度までに脱炭素に向け実行していくことや農村・漁村・山村、離島、都市部の街区など多様な地域において、地域課題を解決し、住民らの暮らしの質の向上を実現しながら脱炭素に向かう取組みの方向を示す『脱炭素先行地域』を設定していくとの説明であった。</p>
<p>市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等</p>	<p>気象庁の説明を受けて、これまでの全国の気象による自然災害等の予報やその情報発信から地域を災害から防災へと、昨今の自然災害を踏まえて守る政策に力を入れてきていることに大いに感心した。</p> <p>特に、地域防災支援業務の「あなたの町の予報官」、「気象防災アドバイザー」については、災害時における取組や平時における取組、そして災害時の避難の判断・在り方などまさに自治体が率先して取り組まなければならない業務をぜひ本市としても取り入れるべきと思った。</p> <p>また、環境省の『脱炭素先行地域』については、本市がゼロカーボンシティ・ネイチャーポジティブの宣言を発信している以上、ゼロカーボンニュートラルや地域課題の解消に向けて取り組むべきと考える。</p> <p>昨今の地球温暖化の進み具合や災害の多さを考えると急ぐべきと思った。</p>

## 視察調査・研修会等報告書

令和6年 8月29日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳之 様



議員氏名( 橋本 守行 )

研修・視察年月日	令和6年8月19日(月)～令和6年8月20日(火)
研修会場・視察先	8月20日(火):福岡県うきは市役所
研修名・視察目的	農業×観光×生物多様性保全で磨き上げる脱炭素型農村モデルづくりについて
対応者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	福岡県うきは市役所:企画財政課課長補佐兼カーボンニュートラル推進 係長 [REDACTED] 地域プロジェクトマネージャー [REDACTED]
参加議員(同行者)	高橋 栄議員
調査概要	<p>【農業×観光×生物多様性保全で磨き上げる脱炭素型農村モデルづくりについて】</p> <p>うきは市は、2021年に「ゼロカーボンシティ宣言」し、同年総務省事業である分散型エネルギーインフラ活用うきは地域経済循環モデル構築事業を実施した。</p> <p>その結果、地方公共団体を核とした、事業者、地域エネルギー会社及び金融機関等、地域の総力を挙げてバイオマス、廃棄物等の地域資源を活用した地域エネルギーを立ち上げた経緯を伺った。</p> <p>また、有機農業による環境配慮型農業と脱炭素で付加価値を高めた「サステナフルーツ(仮称)」をブランド化し、観光振興とともに農家の後継者を育成、そして「うきは地域エネルギー商社(仮称)」における再エネ電源開発と電力取次供給により電力の地産地消を実現している。</p> <p>市内企業が優先的に参画する「うきは地域脱炭素コンソーシアム」を構築し、脱炭素化の推進が期待されるとのことであった。</p> <p>以上</p>

## 視察調査・研修会等報告書

<p>市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等</p>	<p>【農業×観光×生物多様性保全で磨き上げる脱炭素型農村モデルづくり について】</p> <p>当市においても地域の事情は異なるが、地元企業等による独自の電力 会社による地元地域への電力供給の仕組みはおおいに参考となり、実施 すべきであると感じた。</p> <p>また、民間の地域プロジェクトマネージャーを取り入れて小山市も真剣 に取り組むべきであると思った。</p>
---	---

## 視察調査・研修会等報告書

令和 6 年 10 月 17 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳之 様



議員氏名( 橋本 守行 )

研修・視察年月日	令和 6 年 10 月 9 日～令和 6 年 10 月 11 日
研修会場・視察先	10/9～10:岩手県盛岡市内丸 トーサイクラシックホール岩手 10/11 :福島県福島市 福島市役所
研修名・視察目的	10/9～10:全国市議会議長会「主権者教育の新たな展開」について 10/11 :特色ある幼児教育・保育プロジェクトについて
対応者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	別紙:参照
参加議員(同行者)	福田幸平議員、嶋田積男議員、細野大樹議員、高橋 栄議員 廣瀬武蔵議員
調査概要	<p>【10/9～10「主権者教育の新たな展開」について】</p> <p>会議の冒頭に、地元盛岡市議会議長から地方議員のなり手不足が問題化されている現状を踏まえ、議員年金の確保についての活動報告がされた。</p> <p>地方議会においては、大変深刻な問題とされており、各地方議会と連携した動きや全国レベルでの今後の活動について促された。</p> <p>今回のフォーラムのテーマである「地方議会の課題と主権者教育」についてパネルディスカッションが開催され、各パネラーによるそれぞれの立場、研究ついて講演された。</p> <p>日本は諸外国に比べて選挙への関心度は低く、その理由として誰がなっても変わらないなどの意見が多く、これらの払拭のため議員と高等学校の取組が紹介された。</p> <p>【10/11「特色ある幼児教育・保育プロジェクト」について】</p> <p>福島市は、東北地方で「子育てしやすい街ランキング」で 1 位に選ばれるなど、全国でも常に上位に選ばれており、その取組について視察した。</p> <p>令和 2 年に、「子ども・子育て新ステージ 2020 新規事業」となる「特色ある幼児教育・保育プロジェクト」を決定し、「個性があふれ</p>

## 視察調査・研修会等報告書

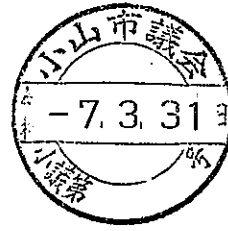
	<p>光る 幼児教育・保育の街 ふくしま市を目指して！」を目標としたプロジェクトを立ち上げたことが大きな政策であった。</p> <p>特に、ICTの活用、地域との連携事業などの他特色ある教育・保育と認められる事業・ICTによるライブ配信で小規模保育園とリモートでつながりひとつの園での読み聞かせを各園で共有するなどして、保育士同士のWEB研修で保育の質を上げるなどの事業を選定し、補助事業化している。</p>
<p>市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等</p>	<p>【10/9～10「主権者教育の新たな展開」について】</p> <p>我が市議会での直近の選挙 においてはあまり感じられないが、近隣市町を含め全国的な議員のなり手不足は把握している。</p> <p>当市においては、各選挙の投票率が年々下がっていることや、関心度の低調を解決するため、各高校に出向いての議会報告会を通じての交流や中学生の模擬議会を実施した。</p> <p>全国の議員のなり手不足対策として、関心度向上に向けてもっと若者にとって身近に感じる議会との交流の場を毎年続けて行くことが大切であると感じた。</p> <p>【10/11「特色ある幼児教育・保育プロジェクト」について】</p> <p>各園が補助対象事業に選ばれるため、常に新しい教育・保育アイデアを検討する様になり、豊かな発想や感性を持ったこどもたちの成長をしっかり支援している。</p> <p>行政側の支援がどこまで必要かには課題があるが、当市においても幼児教育・保育に対するニーズも多様化している現状を踏まえ、福島市としても課題とされている民間連携の構築を強化していくことが、さらなる幼児教育・保育の飛躍であると感じた。</p>

## 視察調査・研修会等報告書

令和 7 年 2 月 15 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳之 様



議員氏名( 橋本 守行 )

研修・視察年月日	令和 7 年 1 月 14 日 ~ 令和 7 年 1 月 16 日
研修会場・視察先	14日 愛知県名古屋市 市役所 15日 岐阜県岐阜市 関ヶ原古戦場記念館 16日 愛知県安城市 アグリライフ支援センター
研修名・視察目的	14日 名古屋市 「ナゴヤ・スクール・イノベーション事業について」 15日 岐阜関ヶ原古戦場祈念館 16日 愛知県安城市 「アグリライフ支援センター事業について」
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	14日 名古屋市 教育委員会事務局 新しい学校づくり推進課 主席指導主事 ██████████ 課長補佐 ██████████ 15日 岐阜市 関ヶ原古戦場記念館 企画課課長 ██████████ 16日 安城市 アグリライフ支援センター 産業部長 ██████████ 農務課長 ██████████ アグリライフ支援センター所長 ██████████
参加議員(同行者)	小林英恵議員 渡辺一男議員 嶋田積男議員 細野大樹議員 島朋幸議員
調査概要	14日 名古屋市 「ナゴヤ・スクール・イノベーション事業について」 名古屋市内の小学校ではこれからの学校の在り方を、モデル校として こどもたち、個々人が持っている能力を最大限に引きだして、個人のこれ からの成長に役立たせる事業を実施している。 時間割等を、先生が決めるのではなく生徒の意欲で進めていく時間割にし ている。生徒が集中して学習している時に、アドバイスを送り、方向性 を送るのが先生の仕事であった。 先生が先導していくのではなく、生徒が主体になって学習する進め方 には、担当する先生の力量で、学習のばらつきが出ているが、子どもたち 個個人が興味をもった得意能力が開花する指導方法を実施している。

## 視察調査・研修会等報告書

	<p>15日 岐阜関ヶ原古戦場記念館 視察 池戸企画課課長に館内の説明を受けながら案内して頂いた。 ジオラマで、関ヶ原古戦場全体が映し出されて、各陣営の動きや策略が一目でわかる様になっていたのは感心した。 また、この記念館では関ヶ原戦いに至るまでの年表が有り、その年表には、7月25日西軍の挙兵を知った徳川家康が小山で評定をおこなう 8月4日 徳川家康が小山の陣を引き払い江戸に向かうなど、小山で起こした行動が記載されていたので、小山評定後9日目に小山を離れたことなどが、詳細に記載されていたので、関心を抱いて視察した</p> <p>16日 愛知県安城市「アグリライフ支援センター事業について」アグリライフ支援センター所長の市川様から当施設の事業説明を受けた。 何処の地域でも近年、若者の農家離れが進み、耕作放棄地が問題になっている。その耕作放棄地を少しでも減少させているのが、アグリライフ支援センターの主たる事業であった。1年間耕作放棄地にすると、農地に樹木が自然と茂り、荒れた農地になってしまい、二度と耕作できなくなるのを防いでいるのが、同支援センターです。その方法として、耕作したい市民を募集しているのも支援センターで、お互いの中を取り持ち、市民が、家庭菜園としての耕作希望者の栽培指導や、作物の消費などの仲介を実施している様子を視察した</p>
<p>市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等</p>	<p>14日 名古屋市「ナゴヤ・スクール・イノベーション事業」 生徒の個性や能力を最大限に引き出す授業の実施は素晴らしく、今後導入されていく事が望ましいのであろう。半面、指導者である先生の力量にバラツキが出てしまう可能性もあるので、注視していきたい</p> <p>15日 岐阜関ヶ原古戦場記念館 視察 百聞は一見に如かずと言うが、歴史を正しく学ぶには歴史記念館や博物館で、観て学習することや再認識することが大切だと感じた。</p> <p>16日 愛知県安城市「アグリライフ支援センター事業について」 小山市でも、高齢化による離農や若者の農業離れによる荒れた耕作地の発生は止まらない。農地である耕作地は誰かが管理していないと荒れて使い物にならなくなるので、行政と農協で第3の組織を作り、その組織の基で農家でない一般市民に耕作希望者の募集をかけて、空いている時間を活用して趣味程度に農地や農機具を管理して、市民に生きがいを持ってもらう取り組みは良い方法だと感じ参考にしたい。</p>